

Arcserve Backup for Windows

バージョン比較表

Rev: 5.1

(Arcserve Backup 18.0 ~ Arcserve 2000)

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

本ガイドは情報提供のみを目的としています。Arcserve (USA), LLC. は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。

Arcserve (USA), LLC. は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証（商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます（ただし、これに限定されません））も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供します。Arcserve (USA), LLC. は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など（ただし、これに限定されません）、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、Arcserve (USA), LLC. がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。

© 2014-2019 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

arcserve®

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 5.1)

2019年6月5日

凡例 (○: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	r11.1 11	v9.01 v9	2000	備考
バックアップ機能 & リストア機能														
ReFS サポート		○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
Windows OS 重複除去 サポート		○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
記憶域スペース サポート		○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
4Kネイティブを使用する HDD サポート		○	○	○	△	-	-	-	-	-	-	-	-	r16.5: 512Eのみサポート 詳細は技術文書を参照
SMB ファイル共有の VSS サポート		○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
重複排除によるバックアップ データの削減		○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
ハードディスクへのバックアップ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	11以降: ネットワーク共有サポート
クラウド ストレージへのダイレクト バックアップ		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合成フルバックアップ		○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Open Files (リモート: Client Agent for Windows要)
ステージング (D2D2T, D2D2D)		○	○	○	○	○	○	△	△	△	-	-	-	r15以降: 32ストリームに対応 (ストリーム: 一度に処理されるデータの流の数)
クラウド ストレージへのステージング (D2D2C)		○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	
テープ装置からテープ装置へのステージング (D2T2T)		○	○	○	○	○	○	△	△	-	-	-	-	
ステージング コピー先を2箇所指定 (ダブルテープコピー)		○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	r16.5 SP1以降
Disaster Recovery: 差分/増分データ復旧		○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Disaster Recovery Option (リモート: Client Agent for Windows要)
MUI (Multi-Lingual User Interface) サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
Active Directory 詳細レベル リストア		○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	
BitLocker 暗号化 サポート		○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
EFS (暗号化ファイルシステム) サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
バックアップ データの暗号化		○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	-	r12以降の暗号化アルゴリズム: AES256
バックアップ時の暗号処理ノード(エージェント/サーバ)選択		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	r12.5以降: サーバでの暗号化を標準機能化
バックアップ セッションへのパスワード付与		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
バックアップ専用LAN		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
VSSライタによるアプリケーション保護		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Open Files (リモート: Client Agent for Windows要)

※ 旧バージョン(r17以下)のArcserve Backupでは、一部Service Packや公開モジュールの適用、無償範囲のアップグレード (v9→v9.01, 11→r11.1)が必要となる機能があります。

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 5.1)

2019年6月5日

凡例 (○: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	r11.1 11	v9.01 v9	2000	備考
VSSによるスナップショット対応		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Open Files (リモート: Client Agent for Windows要)
下位バージョン互換 サポート		◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	
Windows OS上のrawバックアップ		○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Enterprise Module (リモート: Client Agent for Windows要)
JIS2004対応		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	
日数の追加オプション (カスタム スケジュール)		◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	
カスタム スケジュールでのメディア プール サポート		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	
バックアップ順序の変更		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
バックアップの成功率の向上(グローバル再利用セット)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	r15以降: 既定値セット
チュートリアルによるArcserve Backupの使い方支援		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	
コマンドライン サポート		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	
スクリプト実行(cabatch/arcbatch)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	v9以降: cabatchに変更
ジョブのテンプレート保存		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	
64bit (Intel64環境) サポート		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	
64bit (Itanium IA64環境) サポート		-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
Linux サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	v9以降: 日本語版 18.0対応オプション/エージェント: Client Agent for Linux
UNIX サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Client Agent for UNIX
バックアップ ウィンドウ指定と、時間超過ジョブの自動キャンセル		◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	r17.5 SP1以降
クラウドへのデータ保管 (D2D2C / D2C) ※D2Cは r17.5 以降で対応														
Amazon S3 サポート		◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	
Eucalyptus サポート		◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	
Microsoft Azure サポート		◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	
国内クラウド サポート		◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	
AWS Storage Gateway (VTL) サポート		◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	VTLにマルチドライブを設定する場合: Tape Library Option 要
クラウド仮想マシンへの導入 (IaaS / PaaS 保護)														
Amazon EC2 上の仮想マシンでの利用		◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	バックアップ対象により、各種エージェント要
Microsoft Azure 上の仮想マシンでの利用		◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	バックアップ対象により、各種エージェント要

※旧バージョン(r17以下)のArcserve Backupでは、一部Service Packや公開モジュールの適用、無償範囲のアップグレード (v9→v9.01, 11→r11.1)が必要となる機能があります。

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 5.1)

2019年6月5日

凡例 (◎: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	r11.1 11	v9.01 v9	2000	備考
全クラウドの IaaS/PaaS サポート		◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	バックアップ対象により、各種エージェント要
仮想環境サポート														
vSphere 環境での TLS 1.2 サポート		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
利用ブロック抽出 (ブロック分析アプローチ)		○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
vSphere/Hyper-V 仮想マシン専用のリストア		○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
VMware View サポート		○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
vSphere(VMware) ESX/ESXi ゲストOSの物理方式バックアップ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
vSphere ESX/ESXi: エージェントレス方式 (VCB)		-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	
vSphere ESX/ESXi: エージェントレス方式 (VDDK: vStorage API)		○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
vSphere vMotion/DRS/HA サポート		○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
vSphere FT サポート		○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
vSphere VVOLサポート		○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
vSphere エージェントレス方式の転送モード選択 (SAN転送モード/NBD転送モード/Had Add転送モード)		○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle r16以前はArcserveによる自動選択
Microsoft Windows Server 2019 Hyper-V サポート		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Microsoft Windows Server 2016 Hyper-V サポート		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Microsoft Windows Server 2012/2012 R2 Hyper-V サポート		○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Microsoft Windows Server 2008 R2 Hyper-V サポート		○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Microsoft Windows Server 2008 Hyper-V サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Hyper-V 記憶域スペース ディレクト のサポート		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Microsoft Hyper-V: Hyper-V over SMB サポート		○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Microsoft Hyper-V: Hyper-V レプリカ サポート		○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle

※ 旧バージョン(r17以下)のArcserve Backupでは、一部Service Packや公開モジュールの適用、無償範囲のアップグレード (v9→v9.01, 11→r11.1)が必要となる機能があります。

© 2014-2019 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 5.1)

2019年6月5日

凡例 (◎: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version												備考
	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	r11.1 11	v9.01 v9	2000	
Microsoft Hyper-V: ライブ マイグレーション サポート	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Microsoft Hyper-V: Quick Migration サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
KVM (RedHat) サポート	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	
Citrix XenServer サポート	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
VMware Workstation/Server サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
仮想ノードへのバックアップサーバ(本体製品)導入サポート	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△	-	-	-	r16以降: vSphereやHyper-Vにも対応
P2V	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Disaster Recovery Option (リモート: Client Agent for Windows要)
同じホスト名を持つ仮想マシンの保護	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
バックアップ速度の向上機能													
テープ ブロック サイズ拡張によるパフォーマンス向上	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	
Image Option 64ビット OS 対応	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Enterprise Module
Image Option 32ビット (Windows 2008) 対応	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Enterprise Module
Image Option 32ビット (Windows 2003まで) 対応	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
マルチストリーミング	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Enterprise Module
マルチプレキシング	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△	-	-	r15以降: 32ストリームまで標準機能で対応 (ストリーム: 一度に処理されるデータの流の数の数)
Tape RAID機能によるデータのストライピングと冗長化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18.0対応オプション/エージェント: Tape Library Option
Arcserveシリーズ連携機能													
バックアップ データの遠隔地保管 (Arcserve Replication 連携)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	18.0: RHA r16.5 SP7b以降で対応 (リモート: Client Agent for Windows要)
イメージ バックアップ データのテープ保管 (Arcserve UDP 連携)	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	Arcserve UDPのデータをGUIから選択
イメージ バックアップ データのテープ保管 (Arcserve UDP 連携)	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Arcserve UDP 復旧ポイントサーバのデータストア をGUIから選択
イメージ バックアップ データのテープ保管 (Arcserve D2D 連携)	-	-	-	◎	◎	△	-	-	-	-	-	-	Arcserve D2DのデータをGUIから選択
Arcserve UDP コンソールの "テープコピー" タスク サポート	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※ 旧バージョン(r17以下)のArcserve Backupでは、一部Service Packや公開モジュールの適用、無償範囲のアップグレード (v9→v9.01, 11→r11.1)が必要となる機能があります。

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 5.1)

2019年6月5日

凡例 (◎: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	r11.1 11	v9.01 v9	2000	備考
Arcserve UDP 復旧ポイントサーバのバックアップ		◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Agent for Open Files 要 (リモート環境: Client Agent for Windows要)
管理機能														
Alert: TLS/SSL SMTP サーバの対応		◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
Alert: SMTP認証への対応		◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	
Alert: x64環境のトラブルチケット対応		◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	
3階層管理 (Arcserve Backup ドメイン)		○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Central Management Option
バックアップGUIの拡張(グループ ビュー)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	
スケジュール結果の一覧表示(ジョブ履歴表示)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	
ジョブキューの集中化(グローバル ジョブキュー)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	
実行中のバックアップ ジョブのアカウント変更		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	
アーカイブ機能		◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	
視覚化(Infrastructure Visualization)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	
Dashboardの集中化 (Global Dashboard)		○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Global Dashboard, Central Management Option
Dashboard		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	
セントラル エージェント管理		◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	
PKI (Performance Key Indicator) リソース監視		◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	
暗号化パスワード保管		◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	-	-	-	-	-	
監査ログ		◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	-	-	-	-	-	
7つの権限で最適なアカウント作成(ユーザ プロファイル)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	-	-	-	-	-	
バックアップ メディア診断 (メディア検証)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	
パッチ管理 (Patch Manager)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	
メディア管理機能 (MMO)		○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Enterprise Module
カタログDBでバックアップ後のマージ時間を短縮		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	
レポートライタでレポートをカスタマイズ		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	
バックアップ実行前にチェック(プレフライト チェック)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	
コマンドをスケジュール登録(ジョブ スケジューラ)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	
ログ収集ツール (診断ユーティリティ)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	
ハードウェア機能 & テープ装置機能														
uEFI環境サポート		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	

※ 旧バージョン(r17以下)のArcserve Backupでは、一部Service Packや公開モジュールの適用、無償範囲のアップグレード (v9→v9.01, 11→r11.1)が必要となる機能があります。

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 5.1)

2019年6月5日

凡例 (◎: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version												備考
	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	r11.1 11	v9.01 v9	2000	
uEFI環境のDisaster Recovery サポート	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Disaster Recovery Option (リモート環境: Client Agent for Windows要)
SANブート環境サポート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	
SANブート環境のDisaster Recovery サポート	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Disaster Recovery Option (リモート環境: Client Agent for Windows要)
ハードウェアスナップショット サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Enterprise Module, Agent for Open Files (リモート環境: Client Agent for Windows要)
NDMP NAS サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	18.0対応オプション/エージェント: NDMP NAS Option
NDMP NAS: 3way サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	18.0対応オプション/エージェント: NDMP NAS Option
NDMP NAS: 動的デバイス共有 サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	18.0対応オプション/エージェント: NDMP NAS Option, Central Management Option, SAN Option, Enterprise Module
NDMP NAS: Filer to Server サポート	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: NDMP NAS Option
NDMP NAS: SnapLock サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: NDMP NAS Option
NDMP NAS: Snap Mirror サポート	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: NDMP NAS Option
テープ装置のハードウェア暗号化サポート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	-	-	-	-	
LTO8ドライブで初期化されたLTO7 タイプM メディア サポート	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
LTO6以降の論理ブロック保護 (LBP) サポート	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	
USBテープ装置サポート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	
テープ装置修理後の自動グループ設定 (デバイス動的設定)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	
テープ ライブラリ装置の自動設定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	
複数クリーニング メディア サポート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	
SAN環境サポート (テープ装置のSAN共有)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18.0対応オプション/エージェント: SAN Option, Central Management Option
テープ ライブラリ装置(1ドライブ) サポート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
テープ ライブラリ装置(マルチ ドライブ) サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18.0対応オプション/エージェント: Tape Library Option
WORMサポート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	
OBDR (One-Button Disaster Recovery) サポート	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※旧バージョン(r17以下)のArcserve Backupでは、一部Service Packや公開モジュールの適用、無償範囲のアップグレード (v9→v9.01, 11→r11.1)が必要となる機能があります。

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 5.1)

2019年6月5日

凡例 (○: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	r11.1 11	v9.01 v9	2000	備考
アプリケーション サポート														
SQL Server サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SQL
TSL1.2 を有効にした SQL Server のサポート		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SQL
SQL Server over SMB (Windows Server 2012以降) サポート		○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SQL
Oracle (Windows版) サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Oracle for Windows
Oracle (Windows版) 64bit サポート		○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Oracle for Windows
Oracle (Windows版) コマンドによるRMAN連携サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Oracle for Windows
Oracle (Windows版) RMAN GUI 提供		○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Oracle for Windows
Oracle クロスプラットフォーム (Linux版/UNIX版) サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	18.0対応オプション/エージェント: (Linux版) Agent for Oracle for Linux (UNIX版) Agent for Oracle for UNIX
Oracle (Linux版/UNIX版) RMAN GUI 提供		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: (Linux版) Agent for Oracle for Linux (UNIX版) Agent for Oracle for UNIX
Exchange Server サポート (DB レベル) → DB単位バックアップ、DB単位リストア		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft Exchange
Exchange Server サポート (Brick レベル) → フォルダ単位バックアップ、フォルダ単位リストア		-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	
Exchange Server サポート (ドキュメント レベル) → フォルダ単位バックアップ、メール単位リストア		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft Exchange
Exchange Server サポート (Granular Restore コーティリディ) → DB単位バックアップ、メール単位リストア		○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft Exchange
Exchange Server 回復用ストレージ グループ サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft Exchange
SharePoint Server/サービス サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SharePoint
SharePoint Server 詳細レベル リストア サポート		○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SharePoint
Domino Server サポート (Arcserve Open File 技術)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	
Domino Server サポート (Domino API)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Lotus Domino
Domino Server トランザクション ログ サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Lotus Domino

※旧バージョン(r17以下)のArcserve Backupでは、一部Service Packや公開モジュールの適用、無償範囲のアップグレード (v9→v9.01, 11→r11.1)が必要となる機能があります。

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 5.1)

2019年6月5日

凡例 (◎: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version												備考
	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	r11.1 11	v9.01 v9	2000	
Domino パーティション サーバ サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Lotus Domino
Domino Server DAOS サポート	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Lotus Domino
高可用性サポート													
3ノード以上のクラスタ (MSCS/MSFC/WSFC) サポート	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	バックアップ対象により、各種エージェント要
SQL Server: AlwaysOn セカンダリ DB サポート	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SQL
SQL Server: AlwaysOn プライマリ DB サポート	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SQL
SQL Server: クラスタ (MSCS/MSFC/WSFC) サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SQL
Oracle DB: クラスタ (MSCS/MSFC/WSFC) サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Oracle for Windows
Oracle DB: RAC サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	18.0対応オプション/エージェント: (Windows版) Agent for Oracle for Windows (Linux版) Agent for Oracle for Linux (Unix版) Agent for Oracle for Unix
Exchange Server: DAG サポート (プライマリ/セカンダリ DB)	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft Exchange
Exchange Server: クラスタ (MSCS/MSFC/WSFC) サポート	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Exchange Server: SCC サポート	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
Exchange Server: LCR/CCR/SCR サポート	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
SharePoint Server: SharePoint DBのクラスタ サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	18.0対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SharePoint

※ 旧バージョン(r17以下)のArcserve Backupでは、一部Service Packや公開モジュールの適用、無償範囲のアップグレード (v9→v9.01, 11→r11.1)が必要となる機能があります。